

上天草市議会だより

# えがお



上天草市

## 第5号

2011年5月15日発行

発行/上天草市議会  
編集/上天草市議会  
広報編集特別委員会  
Tel 0964-56-1111

### 主な内容

- 議員定数削減案否決……………P 6～7
- 一般質問 市政のココを問う……………P11～17
- 緊急特集「わがまちの防災」……………P18～19

## 天草五橋をつくりました。



「笑顔の会さんふらわあ」の皆さん

# 人生は楽、笑

【阿村】 はる たまさえ 春田政江さん 90歳

まちの  
笑顔  
シリーズ



“まちの笑顔シリーズ”今回は、お元気でかわいらしい女性、春田 政江さんをご紹介します。

春田さんは、大正9年東京生まれで、昭和16年に夫・春田輝さんにご結婚されました。東京での新婚生活わずか20日余りで、戦争のため離れ離れになりましたが、昭和18年に戦傷の身の夫と広島陸軍病院で再会できました。

昭和23年3月に開業医の夫とともに松島町阿村の地に移住しましたが、「当時は言葉も分からず苦労したけど、俳句のおかげでスムーズに地域に溶け込むことができたのが、何よりの幸せ」と笑顔で話してくださいました。

昭和44年には2代目阿村婦人会長に就任されて、“なんと30年あまり”地域のためにご尽力されました。

現在は、ご次男夫妻と一緒に生活されて、趣味の俳句、詩吟、散歩を楽しまれている、明るく笑顔の美しい春田さんでした。

これからも、お元気で過ごしてください。

### 《お礼》



1月に開催された『女性議会』の議員の方々から、“議場に記念に”と花瓶をいただきました。贈呈の日はちょうど議会開会中で、お花も生けていただき、早速議場に飾りました。  
「女性議会議員の皆さんありがとうございます」

# Thank you



## まちを歩いて… 姫戸地区

陽気な季節、明るい話題をと思い歩いた町並み。4、5人の漁師の集団と出会い話を聞いた。沖を眺めながら口から出る言葉は半ば諦め気味のやるせない話ばかり。話を聞くと、平成6年ごろ169人いた漁民が今は70人程度で淋しいかぎりだと話をされ、漁に出る意欲も日ごとに薄れるとのこと。昔は活気があったし、めごいない(籠に魚を入れ両天秤担いで行商すること)の皆さんが我先きを競っていた時代を懐かしがって語られ、あんな賑やかな時代が来ないかなあと、遠くをみつめておられたのが心に沁みだ。



◆表紙の写真

2号橋四郎公園にミニチュアの『天草五橋』ができました。作ったのは、「笑顔の会さんふらわあ」の皆さんです！ 会員募集中で～す!!

## 次の定例議会は 6月です。

ぜひ傍聴にお越しください。

詳しくは議会事務局へ ☎0964-56-1111



上天草市議会広報  
編集特別委員会

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 須崎 光枝  |
| 副委員長 | 川口 望   |
| 委員   | 津留 和子  |
|      | 猪塚 安親  |
|      | 平田 晶子  |
|      | 田中 たつお |

3月11日に発生した東日本大震災は、国内観測史上最大のマグニチュード9.0を記録し、死者・行方不明者が数万人となる悪夢のような出来事でした。亡くなられた方の御冥福を心よりお祈りし、一日でも早い復興を願っています。

我々議会としても義援金を送り、個々でもチャリティ活動を行っています。小さな事しか出来ませんが、今やるべき事、何ができるのかを考え、市民の皆様と心をつなぐ行動を起こしていきたいまう。

がんばろう日本！  
(川口 望)

## 編集後記

# 補正予算

## ●平成22年度一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出それぞれ1億1,978万9,000円を減額し、予算総額を175億6,970万5,000円とするもので、主に事業完了に伴う減額補正になります。

### 歳出の主なもの

- ◆ 人件費の減額 △9,325万円  
人事院勧告準拠による特別職・議員・職員の給与等の減額によるものなど。
- ◆ 荒木浜地区換地清算金 △6,877万円  
換地計画書の変更を実施する必要があったため、清算額が減額になるもの。
- ◆ 木材・林業産業振興施設整備事業補助金 △4,815万円  
松島木材センターの事業の見直しによる減額。



### 23年度へ事業を繰り越すもの

(主なもの)

- ◇ 維和東部診療所解体工事 120万円
- ◇ 大作山排水路改修工事 300万円
- ◇ 牟田漁港浮棧橋補修工事 830万円
- ◇ 天草四郎公園夜間照明工事 1,250万円
- ◇ 千歳山観光施設維持管理事業 140万円
- ◇ 市道坊主島下桶川線防災対策事業 5,393万円
- ◇ 小学校校舎営繕事業(龍ヶ岳小学校校舎など) 4億6,192万円
- ◇ 中学校校舎営繕事業(大矢野中学校体育館など) 4億5,193万円

# 暫定予算

## ●平成23年度一般会計暫定予算

平成23年4月に選挙があるため、市の平成23年度予算は4月から6月までの暫定予算となっています。暫定予算は、地方自治法の規定により「つなぎ予算」として編成されるものであるため、政策判断が必要な経費等については、今後の「通常予算」において具体化されます。しかし、市民生活に必要な公共サービスは停滞や中断がないように予算が編成されています。

23年度の一般会計は、歳入と歳出それぞれ52億7,400万円が計上されました。

### 歳出の主なもの(年額)



さんばーるアンテナショップ  
開設委託料 **1,226万円**

九州新幹線の全線開業にあわせ、熊本駅構内に上天草市のアンテナショップがオープンしました。



スクールバス運行委託料  
**6,869万円**

スクールバスは、小学校・中学校あわせて6校で運行され、259人の児童・生徒が利用しています。



市長・市議会議員補欠選挙経費  
**1,631万円**

4月24日執行の選挙に係る投票所や期日前投票所の経費、入場券発送の郵便料金などに充てられます。

## 3月 定例会

3月定例会は、2月28日から3月16日まで開催され、条例14件、補正予算10件、暫定予算11件、陳情3件、その他6件を審議しました。

市長提案の議案はすべて原案のとおり可決しましたが、議員提案の議員定数を削減する条例改正案は否決となりました。

# 条例制定・改正

(主なもの)

## ●市農林水産物直売・食材供給施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

ピザ窯体験施設を条例に加える。使用料は1回500円で、さんばーるに事前に申し込めば、どなたでも使用できます。



## ●市農林水産物加工品開発研究センター設置及び管理に関する条例制定

上天草市農林水産物加工品開発研究センター

市の一次産品を活用し、新しい加工品等の商品開発を行い、優良な商品等については、独自ブランド認証を付与するなど、市のオリジナルブランド商品として積極的に販売を促進していく拠点施設。利用者は3日前までに市に申し込むこと。



## ●市荷さばき施設の設置及び管理に関する条例制定

漁業所得の増収を目指し、水産物の荷さばき所を設置。施設の使用、管理に関する条例を定めるもの。

上地区  
荷さばき所



中地区  
荷さばき所



## ●市図書館建設基金条例制定

新しい図書館の建設に要する経費を積み立てるため、基金を設置するもの。



## ●市スポーツ振興基金条例制定

スポーツ大会で集まった寄附金等を基金に積み立て、スポーツ振興に充てるもの。



## ●市大矢野総合スポーツ公園 条例の一部改正

旧4町の体育施設使用料金の統一をはかるため、条例を改正するもの



### 【料金改正の一部】

- ◇ 冷暖房施設(メインアリーナ) 3,000円/1時間 ↑ 1,000円増
- ◇ グラウンド(全面・市民) 600円/1時間 ↑ 600円増

## ●市松島総合運動公園 条例の一部改正

### 【料金改正の一部】

- ◇ 冷暖房費(アロマホール) 600円/1時間 ↑ 100円増
- ◇ ランニングコース回数券販売(11枚)



# 臨時議会

2月18日に議会臨時会が開かれ、主に国の緊急総合経済対策を活用して事業を実施するための補正予算3件と、関連条例1件が上程され、すべて原案のとおり可決しました。

地域活性化交付金として『きめ細かな交付金』が**2億345万円**、『住民生活に光をそそぐ交付金』が**3,972万円**、合わせて2億4,317万円と、『学校施設整備補助金』の**2億7,818万円**を活用して、主に下記のような事業に取り組みます。

## 学校整備

- 龍ヶ岳小学校校舎・給食室改築工事
- 龍ヶ岳小学校体育館耐震補強・改修工事
- 龍ヶ岳中学校耐震補強・改修工事
- 今津中学校校舎改造工事
- 今津中学校駐車場整備工事
- 姫戸中学校施設改修工事
- 大矢野中学校南棟耐震補強工事



## 安全確保

- カーブミラー設置45カ所
- ガードレール整備13カ所
- 地下式消火栓設置2カ所
- デジタル個別受信機購入100台
- 防犯灯維持管理
- 緊急通報端末機購入100台

## 水産振興

- 串漁港突堤工事
- 湯島漁港護岸補修工事
- 湯島漁港安全施設設置工事
- 貝場漁港小瀬戸護岸嵩上工事
- 中地区荷さばき所設備工事
- 大道漁港船揚場改良工事



## 社会教育充実

- 図書館管理システム導入事業
- 移動図書館運営事業
- 中公民館改修工事
- 姫戸体育館修繕
- 大矢野総合体育館修繕・備品購入
- 松島総合運動公園修繕

## 質疑

予算審議では、事業の内容や費用対効果などについて多くの質疑がありました。その一部を紹介します。

**Q** 今回の補正では、水産業に於ける補正が多いが、農業面での予算額が少ないのではないのか。  
**A** 過去2回の経済対策予算で、18件1億円以上の事業を行い対応しています。今回緊急性・危険度などを総合的に考えた結果、水産関係が多くなりました。

**Q** 設置される消費生活センターの仕事情形は。  
**A** 市民の消費生活に関する相談及び苦情を適正かつ効果的に処理するため設置しました。祝祭日等を除き、月曜日から金曜日の午前9時から午後4時まで開設し、消費生活相談員が訪問による相談、電話相談、啓発活動を行っていきます。

# 陳情

件名	提出者	結果
「所得税法第56条の廃止」を求める意見書提出に関する陳情	天草民主商工会大矢野支部 ほか	採択→意見書提出
「子ども・子育て新システムの基本制度案要綱」に基づく保育制度に対し、現行保育制度の拡充を求める国への意見書提出を求める請願	上天草市私立保育園協会 会長 天津信隆	採択→意見書提出
中小業者への仕事確保を求める要望書	天草民主商工会松島支部 ほか	継続審査

# 討論

**議案第5号**  
特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正  
宮下昌子  
「学校教育指導員」よりも、司書や学校支援地域本部事業の充実を。

**議案第8号**  
農林水産物加工品開発研究センター設置及び管理に関する条例制定  
宮下昌子  
名称変更や予算追加など、これまで様々変わり、今回単に「貸出施設」になった。建物建設ありきで進め、計画がずさんとしてか言いようがない。

**議案第9号**  
荷さばき施設の設置及び管理に関する条例制定  
北垣 潮  
県の水産研究センターが近くにあり、維持費もかかる。

**議案第12号**  
図書館建設基金条例制定  
北垣 潮  
アロマにある中央図書館をもっと利用すべきで、大矢野の森記念図書館は修理して永久に残すべき。

**議案第27号**  
一般会計暫定予算  
宮下昌子  
「学校教育指導員報酬」(議案第5号関連)と「ブランド推進協議会委託料」(議案第8号関連)の予算に反対。また、「さんばーる」アンテナショップ開設委託料「予算も反対。上天草市単独運営では厳しい。出店は慎重にすべきで、パライゾ上天草株式会社にはこれまでも様々な予算が使われている。

### 反対討論

## 推薦

農業委員会等に関する法律の規定による議会推薦の農業委員2人が決まりました。  
 ◆ 水野 智恵美 さん  
 ◆ 深水 美佐子 さん

## 議案等の賛否表

重要議案等に対して、各議員が「賛成」「反対」のどちらであったか、下記のとおり公表します

議案番号	議案名	結果	表決数	平田 晶子	何川 雅彦	田中 たつお	須崎 光枝	宮下 昌子	西本 輝幸	高橋 健	小西 涼司	島田 光久	川口 望	田中 万里	北垣 潮	園田 一博	窪田 進市	津留 和子	桑原 千知	渡辺 勝也	田中 勝毅	猪塚 安親	新宅 靖司	堀江 隆臣	
議案第5号	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	原案可決	18-2	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	農林水産物加工品開発研究センター設置及び管理に関する条例制定	原案可決	11-10	○	○	●	●	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	荷さばき施設の設置及び管理に関する条例制定	原案可決	16-4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	図書館建設基金条例制定	原案可決	19-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	一般会計補正予算(第6号)	原案可決	19-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	一般会計暫定予算	原案可決	17-3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	指定管理者の指定について(上地区荷さばき所及び中地区荷さばき所)	原案可決	18-2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○ 賛成 ● 反対 - 議長及び利害関係者は除く 議案第8号は同数のため議長採決

# 賛成!!

# 10名から

# 賛

# 否

# あり

# 討論

# 討論

# 反対!!

## 小西 涼司

賛

意見交換会等でも議員の数が多いという声が一番多い。2,000人当たり1名の議員(16名)という意見に対しては、市の地形を考慮すると少ないと思う。18名が妥当と思う。

## 高橋 健

賛

会派あまくさの中でも、これまで月一度のペースで意見交換を行い、意見集約をしてきた。今回会派の意見として18名案を提出した。ほかの意見を無視するとかではなく、議論のきっかけになればという思いだ。

## 何川 雅彦

賛

市民の声には敏感でなければならないし、意見を言うのが議会の機能であると思う。会派の中で人口規模を考慮し、報酬や政務調査費等も含め議論し、議会の審議に支障をきたさない範囲で出した結論である。

## 桑原 千知

賛

18名では反対で16名なら賛成といった意見がでるのが不思議でたまらない。わかりやすい説明をしなければ市民には伝わらない。

## 窪田 進市

賛

今回の削減案は市民の声でもある。そして現在の時代の流れでもある。なぜ今なのか、なぜ18名なのかといった疑問にも十分説明している。

## 須崎 光枝

反

議員定数を削減するよりも、議員報酬を引き下げる方が、より市民の理解を得られると考える。上天草市は面積が広いので定数を減らすと市民の声が届かないと思う。

## 宮下 昌子

反

定数削減や議員報酬は、議会全員協議会及び検討特別委員会のなかで、全員で協議すると決定していたはず。今後十分議論し検討する議題と思う。ここで提出すべきではない。

## 新宅 靖司

反

23年度に特別委員会を設置するという事で関連予算が計上されている。全員協議会の中で議長からも説明があった。定数削減については反対ではないが、さまざまな意見があるので、特別委員会で十分検討したほうがいい。個人的には16名が妥当と思う。

## 田中 万里

反

会派みらいとしては、16名案を考えている。ただ定数削減については、一部の会派のみで進めて提案すべきではなく、議員それぞれの意見を十分に尊重すべきである。あらためて特別委員会において慎重に審議すべきだ。

## 北垣 潮

反

さまざまな意見を吸い上げるためには、ある程度の議員数も必要と思う。一生懸命頑張れば多くてもいいという市民の意見もある。どうして今なのかという疑問もある。

賛成

反対

8

12

# 議員定数削減

# 否決

## 議員数 4人削減案提出

3月定例会最終日、津留和子議員及び賛成議員6名から、議員の条例定数を22人から4人削減し、18人とする議案が提出され、賛成・反対のさまざまな意見が出されましたが、8対12で否決となりました。

なぜ否決となったのか、討論の要約を記してお知らせします。  
なお議員定数については、今後特別委員会を設置し検討することになります。



# 22人⇒18人(案)

## これまでの議員定数削減の流れ

年月	内容
16年3月	在任特例により議員数61人でスタート
17年4月	初の一般選挙で定数26人に
18年3月	議員定数を検討する特別委員会を設置
18年12月	「議員定数検討特別委員会」での審議結果に基づき、次の選挙から定数を4人削減し、22人とする条例改正案を可決
21年4月	定数22人に

改正案提出者に対し、賛成議員以外から「次の選挙まで期間がある中で、なぜ今なのか」「18人とした根拠は」などの質問が多くありました。提出者からは、「会派あまくさのメンバー7人で、議会改革について様々協議・検討した結果、議員定数について結論が出たので提出した。18人は他の議会等を参考にし、決定した」とありました。



● 議員を「18人」にする  
● 削減は次の一般選挙からとする  
(平成25年4月)  
● 条例改正案提出者 津留和子  
● 賛成者 平田晶子 何川雅彦 高橋健 小西涼司 窪田進市 桑原千知

上天草市議会議員定数条例の一部を改正する条例案

反対 12

## 議員定数を削減する条例改正案に対する表決結果

賛成 8

新 猪 田 園 北 田 川 島 西 宮 須 田  
宅 塚 中 田 垣 中 口 田 本 下 崎 中  
靖 安 勝 一 万 光 輝 昌 光 中  
司 親 毅 博 潮 里 望 久 幸 子 枝 た  
つお

渡 桑 津 窪 小 高 何 平  
辺 原 留 田 西 橋 川 田  
勝 千 和 進 涼 健 雅 晶  
也 知 子 市 司 彦 子

# 上天草市議会 常任委員会

3月3日の本会議で委員会に付託された案件の審査を、3つの常任委員会で行いました。委員会審査における主な質問とその答弁、委員からでた意見などを紹介します。



田中万里  
文教厚生常任委員長



窪田進市  
経済建設常任委員長



桑原千知  
総務常任委員長

**委員長報告**  
各委員会で質疑された事項や意見を、委員長は議会の最終日に詳しく報告します。その結果をもとに、各議員は議案に賛成なのか反対なのか明らかにします。

## 総務常任委員会

3月10日、付託された5議案の審査を行い、すべて原案のとおりとしました。また、陳情についても採択としました。

議案第17号

上天草市一般会計補正予算(第6号)  
〔所管部門〕

**問** 「地上デジタル放送共聴施設整備補助金」について、受信できない地域はどのようにしているのか。7月になってデジタル放送が受信できないということがないようにしてもらいたい。



2011.7. 地デジ化 完了  
Alling broadcast will fully switch over to Digital broadcast by July 2011.

**答** 対策の途中で、新たな難視地域46地区652世帯について、これから共聴施設の新設、改修、既存のアンテナを高性能化する予定です。対策が間に合わない世帯には、暫定的に衛星放送を利用して地上デジタル放送を受信できるように支援する予定です。  
(企画政策課)



議案第27号

上天草市一般会計暫定予算  
〔所管部門〕

**問** 観光循環バス委託料569万円の内容は。

**答** 燃料費、人件費、広告代などすべて本県が進めている「地域振興総合補助金」(採択されれば2分の1の補助金が交付される)の活用を考えています。できるだけ市の費用を削減できるような形で考えています。  
(企画政策課)

**問** 観光循環バスの変更点(案)  
●土・日及び祝祭日等の休日のみ運行  
●運行系統の見直し  
●循環バスのPR強化



**問** まちづくり専門アドバイザー育成委託料の内容は。

**答** 民間企業やNPO法人などが、地域のまちづくりを進めるために、各種補助金の申請方法や、他市町村の状況調査等を行う「専門アドバイザー」の育成を目的として雇用する際、必要な人件費分を育成委託料として支給します。熊本県の緊急雇用対策の一つです。  
(企画政策課)



## 経済建設常任委員会

3月10日、付託された13議案と陳情1件の審査を行い、議案はすべて原案のとおりとし、陳情は継続審査としました。

議案第7号

農林水産物直売・食材供給施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

**問** 設置したピザ窯は、バスが停駐する場所にあるが、衛生的に問題ないのか。

**答** 食品衛生については、保健所の指導を受けながら運用面は考えていきたいと思っています。  
(農林水産課)



さんばーる裏に完成した「農林水産物加工品開発研究センター」(上)と「ピザ窯」(下)



## 文教厚生常任委員会

3月11日、付託された22議案と継続審査となっていました。請願1件の審査を行い、議案はすべて原案のとおりとし、請願については、採択としました。

議案第12号

図書館建設基金条例制定

**問** 基金条例制定にあたって、いくら積み立てる考えなのか。どのような規模の図書館を考えているのか。

**答** 目標積立額は、どのような図書館になるかで金額も違います。建設構想については全くの白紙で、今後図書館建設の検討委員会等を設置し、協議をしていきたいと思っています。(社会教育課)



大矢野町の森記念図書館が老朽化しているため、新しい図書館の建設が必要として、基金を設置し費用の積み立てを行うもの。

## 委員会での意見

学校統廃合で空き校舎が出てくるので、「建設ありき」ではなく、既存の施設を改修し、活用することもぜひ検討材料としてほしい。

議案第14号・議案第15号

大矢野総合スポーツ公園条例の一部改正  
松島総合運動公園条例の一部改正

**問** 市長は「市の財政は回復した」としている中で、市民の負担増となる料金の値上げは理解を得られるのか。

**答** 旧町ごとの体育施設使用料の料金統一を図るための改正であり、施設をご利用いただく方同士の整合性、また施設を利用される方と、全く利用されない方との整合性を考え、ある程度利用者の受益者負担をお願いしたいと思います。  
(社会教育課)



## 委員会の意見

市内の子どもたちがスポーツ活動で使用する場合など、今後要綱等で規定して減免できるように検討してほしい。

## ◆委員からの意見

管理料など市から天草漁協(施設の管理者)への支払いはないが(指定管理料=0円)、漁協が専断的に使用するのであれば、固定資産税相当分の使用料を逆に徴収してもいいのではないかと。

委員会では市に天草漁協と協議することを要望



(農林水産課)

**問** 漁港の荷さばき施設は、大矢野地区に2カ所できたが、他地区に建設の予定はないのか。

**答** 水産物産地市場等再編整備計画を熊本県で策定されて、今回上天草地域は2カ所整備されることになりました。(現在のところ他地区への建設予定はない)

(農林水産課)

# 市政の ココを問う

一般  
質問



3月定例会では13人の議員が  
一般質問を行いました

Q&A

KAMIAMAKUSA SHIGIKAI DAYORI

**総務企画部長** 公正で透明性のある入札を確保するためには、延期でなく中止をいたしました。市は談合があったかどうかを知るよしはありません。一番知っているのは指名を受けられた35社の方々を知っているわけですから「談合しなかった」というのであれ

**田中** 延期ではなく、中止した理由は、信ぴょう性が高く確証があったからなのか。

**総務企画部長** 本年1月に入って、電話での談合情報が3件あり、2つの情報については非常に信ぴょう性が高く、内容等を総合的に勘案して、中止を決定しました。

**田中** 22年度の当初予算に倉江浄水場等の建設費が計上されたが、このような事業では莫大な投資とそれに絡む工事入札の指名などにおいて、他自治体では官製談合などの疑惑がもたれた事例があり、危惧していた。指名入札においては、「市民に不信を抱かれることがないように」と何回となく指摘してきたところである。指名入札が中止になった理由を伺う。

**Q** 倉江浄水場等建設工事の入札中止について  
**A** 談合情報の信ぴょう性が高かったので中止した

ばそれが答えだと思えます。

**田中** 市長はこの入札中止についてのようによく考えているか。

**市長** いろいろな情報、市長選挙に絡むものもろの動きを鑑みまして、現段階で適切な入札執行ができないという判断であります。

**田中** 総務企画部長をはじめ市長の答弁は「談合はなかったが、情報の信ぴょう性が非常に高く、公正な指名入札ができないから中止をした」ということよろしいか。

**総務企画部長** 13億円を超えるような事業でしたので、仕切り直しをしたほうがいいと判断した状況です。  
**田中** 私はこの4年間、「公正公平な指名入札をしてください」と言い続けてきたが、最後の最後になって、市民から疑惑をもたれるような結果になったことが残念でならない。



松島町にある現在の倉江浄水場(築53年)

上天草市の施策に生かせ!

## 先進地視察研修

報告

経済建設  
常任委員会 編

経済建設常任委員会は、観光事業はじめとする地域活性化の取り組みと、イノシシ対策について学ぶため、1月19日~21日に視察研修を実施しました。



佐賀県唐津市：棚田ふれあい事業

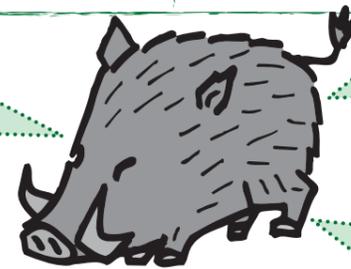
唐津市の葎野の棚田を視察しました。標高180m~420mの急傾地にあり、面積は40ha。平成20年7月に、棚田では全国で初めてとなる重要文化的景観に選定されています。

唐津市の棚田の規模は、本市の棚田とはスケールが違いましたが、棚田の保存という観点においては、同じ気持ちであると感じました。



長崎県佐世保市：エコツーリズム推進事業の取り組み

佐世保市では、平成17年4月にエコツーリズム推進室が設置され、『九十九島無人島上陸・エサやり体験ツアー(島さるく)』、『海軍さんの港まちツアー』など、21年度は56プログラムを計画・実施されていました。「旅」をキーワードに、旅行者と一緒に楽しみながら創り出す新しい持続可能な地域社会づくりであるとの説明があり、観光客誘致への熱意が感じられました。



### イノシシ侵入防止対策

電気柵、ワイヤーメッシュ柵、イノシシ忌避材(薬剤等)の研究・実験

### イノシシパトロール事業

市内全域をパトロールして、被害状況、出没地点、捕獲地点等の調査、確認を行い、猟友会と連携し、イノシシ対策へ結び付けている。

佐賀県武雄市：  
イノシシ対策と  
特産品を生かしたまちづくり

### イノシシ食肉加工施設建設

平成21年2月に完成。処理目標は年間250~300頭で、1日の処理目標は4頭~5頭。販売目標は年1,000万円。都市部でのイベント(試食・販売)を中心に「武雄市産のイノシシ肉」のPR、販売拡大に努めている。

### お知らせコーナー



4月24日の市議会議員補欠選挙で田中豊八氏が当選し、翌日就任しました。

### 議会事務局人事異動

4月1日付人事異動は次のとおりです。

▽議会事務局参事 小松野洋己

▽県派遣 川端 彰 (事務局主事)



田中 万里 議員



市民所得等10%向上の項目は下落傾向にあるが



行政の不作為で起きていないわけではない



新宅 靖司 議員

新宅 今期4年間の市長のマニフェストについて伺う。まず、市の予算の自主財源(市税など)比率を30%にするという目標の中で、下落傾向になったのはどうしてか。

総務企画部長 経済の冷え込みが戻らず所得が落ちています。同時に税金の滞納が発生しているからだと思析しています。

新宅 企業誘致課を設置して3年になるが、実績は。

市長 誘致企業1社ということで、力不足を感じています。企業誘致課の設置は、私の非常に重要な政策の一つとして取り入れ、職員が一生懸命に運営してくれています。企業の誘致だけではなく、ふるさと納税のPR活動、耕作放棄地への企業参入、その他これまで培ってきた人脈を生かして実績をあげています。

新宅 市民の所得も下落傾向で、市内の事業所倒産(廃業も含む)件数も3年間で97件となっている。実情として、所得が向上したという人にはなかなか会えない。逆に、向

上するどころかマイナスになり、税金を納めるのも厳しいと言われる。企業誘致も大事だが、地元企業の育成を優先的にしてほしい。  
マニフェスト(公約)は、市民との約束で、市民のためのマニフェストです。失望させないような上天草をつくっていただきたい。

市長のマニフェスト	結果(実績)
自主財源3割以上	19年度 40億5,863万円(25.0%)
	20年度 39億120万円(24.2%) ↓
	21年度 36億1,866万円(21.3%) ↓
市民所得10%向上	19年度 175万8千円
	20年度 173万4千円 ↓
	21年度 169万5千円 ↓
企業誘致10年間で30社500人新規雇用	3年間で約1億9千万円の税金を使い実績は1社(企業誘致課関連予算)

川端市長 マニフェストの検証	結果
過去3年間の事業所倒産数(廃業を含む)	
20年度	48件
21年度	26件
22年度	23件
合計	97件



高い浄化槽維持管理費、補助金の復活を



生活困窮者などを対象に前向きに検討する



宮下 昌子 議員

宮下 市内の合併浄化槽設置状況は。建設部長 平成21年度末で設置数1939基、普及率は約22%で、公共下水道を含めた水洗化率は約36%です。宮下 全国平均71%に比べ、普及が進まない原因は。

建設部長 市民の所得が向上かないことが一つの原因と考えます。

宮下 浄化槽設置には補助金があるが、浄化槽そのものも高いし、法で定められた維持管理費も高い。特に年1回の清掃料が高く、支払いが困難な人も多い。

合併後支給されていた維持管理費用に対する補助金は、現市政になって『行財政改革』の対象となり打ち切られた。復活は考えていないのか。

建設部長 所得調査を実施して、生活困窮者などへ補助金を支給できるように前向きに検討します。

宮下 市が清掃料金など把握していないのは怠慢ではないのか。きちんと把握し市民に情報公開すべきだ。

建設部長 情報公開については、県内の一般廃棄物処理業の組合などと



ある家庭の合併浄化槽(7人槽)維持管理費(年間)

保守点検費用	清掃費用	法定検査費用
9,470円	45,650円	3,800円

協議しなければ明言できません。市長 条例では『適正な価格となるよう努めるものとする』とあります。この文面からは、価格を把握しなさいとか公表しなさいとは読み取れません。条例どおり進めさせていただきたい。

【均衡ある地域振興について】

宮下 加工品開発研究センター建設、四郎公園のライトアップ、ピザ窯設置、入札問題など、不公平感のない地域振興となっているのか疑問だ。

市長 当然均衡発展を目指しています。



住民健診受診率アップについて



健診日数を増やし、健診体制の充実を図る



須崎 光枝 議員

須崎 特定健診受診率は、平成20年度が23.1%、平成21年度は24.7%とわずかに増加しているが、胃がんや子宮がんなどのがん検診率は減少している。平成22年度の状況はどうなっているか。

健康福祉部長 平成22年度の受診状況は、前年に比べて、特定健診、各種がん検診とも減少しています。

須崎 平成23年度は、受診率向上のため健診日数の追加と、男性に増加している前立腺がん検診を新たに実施する予定です。

須崎 市民が健康で楽しく暮らしていけるように、また、健康であることによつて出費も軽減できるので、市民の認識と自覚を高めるとともに、市の更なる努力に期待します。

【上天草看護専門学校の寮の改善について】

須崎 看護学校の寮を視察した時、建物古く、部屋は一人当たりのスペースが狭く感じた。学校及び寮の改善計画はないのか。



『学びやすい、過ごしやすい環境に!』(写真:看護学校寮(上下とも))

須崎 上天草市民には、自己負担を軽く出来ないか。病院事務局長 県内人間ドック健診機関と比較を行い、料金設定を行つていて、熊本市内より1万円ほど安い料金となっています。国保の加入者は、国の政策で始まった特定健診への移行により、平成20年度から人間ドック受診の助成は廃止になっています。



基金を取り崩し市民の要望に対応すべきでは



財政調整基金の使用は条例上の縛りがある



西本 輝幸 議員

西本 各地区から道路の改修など要望書が建設部に提出されているが、現在までの総件数と各工事箇所の内容、進捗状況について伺う。

建設部長 合併前の未処理分と合併後に各区長から提出されました要望書は合わせて300件になります。地域の内訳として、大矢野町127件、松島町79件、姫戸町41件、龍ヶ岳町53件となっています。

西本 区長名での要望書の有効期限はあるのか。

建設部長 区長がかわりましても、建設部長が決裁をしていますので、その要望書は有効であります。

西本 危険箇所の要望書も提出されているが、事故があった場合は誰が責任をとるのか。

建設部長 管理上の問題など市の過失によつて事故がおきた場合は、市が責任をとり、加入する共済保険から支払いを行います。

西本 平成20年度から3年間で、経済対策費として、国から多額の事業費が交付されている。また、市の貯金

にあたる財政調整基金は、平成22年度見込みで14億7700万円ある。積み立ても必要だが、地場産業の育成や市民生活を守るため、基金を取り崩し、市民の要望に対応していくべきではないのか。市長 財政調整基金の使用は条例上の縛りがあり、大規模な災害や大幅な減収が見込まれる場合を想定しての活用です。地区からの要望は、できる限り早急に手当てしたいと思ひます。西本 地場企業の育成及び市の活性化、雇用促進のため、基金を取り崩し、各地区からの要望が達成できるように願ひする。



『要望箇所や危険箇所は早急な対応を!』



Q

松島・大矢野総合運動公園の今後について

A

市内のスポーツ活動の拠点として位置づける



田中 たつお 議員

【上天草高校の今後について】

田中 23年度入学者の出願率は。

教育部長 3科とも定員を満たして

おらず、前年度と比較して0.18ポイント減の0.56倍です。

田中 魅力ある高校づくりのために市が行ってきたことは。

総務企画部長 地元高校生倍増支援

事業、奨学金の貸付及び給付、通学バス定期券購入費補助及び下宿費補助等を行ってきました。

田中 今後の上天草高校の発展及び魅力ある高校づくりについて。

教育部長 上天草高校の前途を明るく

するためには、保護者あるいは地域の皆様の考え方も変えていただかなければならないと思います。また、高校側も中学校の先生との交流を深めるなど、学校を知っていただくための施策をもっと進めていただければと思います。

上天草高校の狙いは、国公立大学に20名を合格させたいというのが大きな目標でございます。

市も今後について十分検討を重ねてまいりたいと思います。



大矢野総合スポーツ公園  
スポーツ施設の充実を!



松島総合運動公園

Q

松島商業高校存続の要望書提出について

A

現時点で要望書の提出は考えていない



北垣 潮 議員

北垣 平成20年に市から県に出された要望書の中に『市内中学卒業生の6割以上が進学する魅力ある高校が出来ないならば、大矢野高校並びに松島商業高校の存続をはかること』とある。しかし、市内中学生の地元高校への出願状況は、21年度42%、22年度42%、23年度39.4%で、60%にほど遠い状況である。22年度の大矢野高校卒業生の地元就職者は5名で、松島商業高校は11名です。

松島商業高校を熊本商業高校の分校として存続するよう、要望書を県へ提出できないか。

総務企画部長 現時点で要望書の提出は考えていませんが、そういう声はたくさん耳に入ってきていますし、市長も認識しています。

北垣 統合高校を抱える他の市長、町長は『熊本県高校再編関係市町村長等連絡協議会』という会合を持たれて、一生懸命活動されている。一緒に活動されてはどうか。

市長 魅力ある高校が達成され得るのか見極めた段階で、次の行動として

御理解賜りたいと思います。  
北垣 統合高校の状況として、松島商業高校は現在61人の生徒数、上天草高校は9人です。これだけ生徒数は少ないです。松島商業高校の偏差値は天草管内で、上天草高校に次ぐ高さです。  
こんな優秀な高校をつぶしていいのか。再度聞きます。松商存続の要望書を出される気持ちはないか。  
市長 状況を見ながら検討したいと思えます。  
北垣 状況次第では時間がないかもしれない。すぐに出してほしい。



『松島商業高校の存続を!』

Q

地域に仕事がない中で、なぜ市外業者のみ指名したのか

A

該当する業者がいなかった



園田 一博 議員

園田 熊日新聞によると、市発注工事の指名競争入札について、落札業者が決まっているとの談合情報が寄せられ、中止したとあるが、どういうことか。

総務企画部長 公正入札調査委員会を開き、業者からは誓約書もとっています。しかし、情報の信ぴょう性が高いことと、市長選挙の資金になるのではないかと匿名の電話情報があり、そういう部分を払拭するため中止しました。

園田 当面は入札しないと決定したとあるが、当面とはいつまでか。

総務企画部長 市長選挙後までないということです。

園田 業者選定を含め白紙に戻し、再度入札を実施とあるが、白紙とは指名業者総入れ替の選択もあるか。

総務企画部長 仕切り直しという表現で新聞社に答えています。すべて入れ替わることの可能性として薄いと

思います。

園田 地元業者育成や、地元経済の活性化を優先に考え、市が慎重に業

者選定等協議していれば、今度のような前代未聞の結末にはならない。  
総務企画部長 工事のためには、技術力と社会的な信用度を優先しました。  
園田 今後の防止策として、指名入札が適正に行われているか外部の委員で審査する『入札監視委員会』をつくること、入札の公正公平、透明性を高める最良の手段だと思ふ。ぜひつくるべきだ。天草市は本渡市時代から継続して実施している。行政不信を招かないよう事態防止策の一環として、一刻も早く制度化し、正常な入札を行ってほしいと思ひ強く要望する。



倉江浄水場等の建設工事は入札中止  
『入札監視委員会の設置を!』

Q

入札中止が今後起きないように

A

教訓にしながら制度のあり方を検討したい



川口 望 議員

川口 倉江浄水場の築造工事は、市外の業者が指名されたが、土木工事に関しては、一般競争入札を試験的に導入してもよかつたのではないか。

総務企画部長 一般競争入札の制度を市はまだ導入していないため、すぐに入札のあり方を変えることはできませんが、制度のあり方というのは考えていきたいと思います。

川口 私が所属する会派みらいは、早くから入札制度の改革を提言していたが、対応があまりにも遅いのではないか。

総務企画部長 このような事態を迎えて非常に残念な思いですが、地元業者からは、一般競争入札の導入について、異論がある旨の陳情や要望書もいただいております。今後の検討材料としていきたい。

【市長のマニフェスト】

4年間の検証

川口 市民所得や就業機会などの数値を、10年間で10%向上させる内容であったが、平成20年度から97件の企

業が倒産しており、もっと地場産業への支援を増やすべきではないか。また、業種の中では農林漁業などの一次産業の倒産件数が一番少ないが、こちらも支援を拡大し、雇用につなげるべきではないか。  
農林水産分野の振興は、この4年間でどの程度進んだのか。  
経済振興部長 一次産業と観光業のタイアップによる地元産品の消費拡大や、農林水産物加工品開発研究センターを活用した産業界の連携推進など、消費、販売、雇用の向上に向けた取り組みを行っています。



『農業と雇用をつなげる取り組みを!』



昭和47年7月の天草大水害の様子(龍ヶ岳町)



## 緊急特集

# わがまちの防災

～自主防災のススメ～

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、国内観測史上最大のマグニチュードを記録し、地震と津波で町が壊滅状態となり、多くの被災者が出ました。この惨状に、防災対策の限界を感じながらも、「だからこそ、日ごろからの備えや意識、地域住民のつながりが大切ではないか」と痛感しました。我々議員の第1使命は「市民の生命と財産を守る」ことにあります。議会では防災に関する質問や意見も多く出されます。しかし、比較的防災意識の高かった東北で、今回の人的にも大きな被害となりました。

想定外の災害を機に、市民の皆さんにも災害に対する認識を更に高めてもらうと、今回特集を組みました。災害から住民を守るのは行政の役目ですが、一番の鍵は「自分自身」と「助け合い」です。これから梅雨を迎えます。防災について、家族や地域で考えてみてください。

## 防災の基本

- ① 自助 Ⅱ 自分の命は自分で守る
  - ② 共助 Ⅱ 地域住民が連携して、町の安全はみんなで守る
  - ③ 公助 Ⅱ 行政が災害に強い地域の基盤整備を進める
- 3つが連携を保つことで、防災対策は効果を発揮することができます。

# 想定外は起こる

## 過去の災害

本市における災害で思い出されるのは、昭和47年7月6日の集中豪雨により天草上島東海岸を襲った土砂災害です。旧龍ヶ岳町・姫戸町・倉岳町・松島町などで死者、行方不明者115人、斜面崩壊は約4600カ所にもなりました。また、各地で川が氾濫、家や田畑、地域全域を押し流し、東日本大震災と同じような光景でした。

その他にも、昭和57年7月の旧大矢野町での大雨災害、平成3年と平成11年の台風では、旧龍ヶ岳町で合わせて10棟が全壊、90棟が半壊、建物損壊約1170棟、被害総額約46億円にもなりました。

この40年間で、上天草市でも大きな災害がいくつも起こっています。災害は決して『よそごと』ではないのです。



## 現状分析

### 【避難所】

上天草市の地域防災計画によると、災害時の避難所として42カ所(廃校の校舎を含む)が指定されています。しかし、津波などの緊急時の場合、閉まっている可能性もあります。災害によっては避難所自体が危険な場合もあります。指定の避難所とともに、安全な場所や避難経路について確認しておくことが大事です。

### 【備蓄品】

市の食糧備蓄品はありませんが、災害の際は、市内の協力協定事業所へ要請し、必要な食糧等物資の確保を行います。しかし、準備されるまでに時間がかかり、準備不足の危険があります。大規模災害の場合は、すぐに避難所として機能しないこともあります。必要最低限のものは、各自で日頃から準備しておく必要があります。

### 【要援護者】

高齢者や障がい者は、避難行動が困難なため、被害にあう可能性が高くなります。

## 【医療】

市は「災害時要援護者避難支援計画」を策定しています。が、対象者は数千人にもなりません。そこで求められるのが、地域の力です。市では国の災害基本法に基づき、住民同士で助け合う『自主防災組織』の設立をお願いしていますが、現在のところ54行政区で組織され、結成率はまだ30%ほどです。地域防災活動は、これからの社会においてますます重要なものになってきます。

## 【情報】

市は台風や大雨の際「防災行政無線」で情報を発信しています。停電になっても市役所の自家発電によって防災無線は使用できます。家庭用の無線機は、自動で電池に切り替わります。しかし、災害によっては機能を失う場合がありますので、携帯ラジオなど用意しておくことも大事です。

また、携帯電話も非常に便利ですが、災害時はほとんどつながりません。連絡方法などはあらかじめ取り決め、電話番号はメモして携帯しておくことも大事です。

## 【整備】

市は橋によって本土とつながっています。もし橋が通れない場合は、物資の供給が遅れます。水・食料とも3日分ほど用意しておくほうが安心です。

そして、今回の災害では原発事故も大きなものとなりました。九州には原子力発電所が2カ所あります。電力は生活や経済活動において必要不可欠であることも改めてわかりました。インフラ整備について、将来を見据え、議論し考えていかなければなりません。

## まとめ

- ① 家族で防災について話し合おう
- ② 非常時の持出品の準備をしよう
- ③ 家の中の安全対策・家の周囲の安全対策をしよう
- ④ 地域ぐるみで防災対策をしよう
- ⑤ 災害時要援護者にやさしいまちづくりをしよう
- ⑥ 防災設備、施設整備の充実及び防災訓練や防災教育に努めること (市に対して)



**非常時持出品**  
ラジオ、懐中電灯、水、非常食、衣類、生活用品、救急薬品、貴重品 など

災害はいつ、何時来るかわかりません。災害は忘れたころに来ると言われますが、昨今の異常気象や地球の異変の中では、近いうちにいろいろな災害が発生する可能性は大いにあります。

**備えあれば憂いなし**という言葉がありますように、いろいろな意味で心構えをしてください。

◇東日本大震災の義援金として市議会でも各議員1万円ずつ、全国市議会議長会を通じて日本赤十字社に寄付をいたしました。